

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業概要

新型コロナウイルスワクチン接種対策室

【R3.1.25 現在】

1 実施主体

国の指示のもと、都道府県の協力により、市町村において予防接種を実施する。

※予防接種法の臨時接種に関する特例での接種（予防接種法改正 R2.12.9 公布・施行）

2 接種対象者及び接種方法

接種対象者：接種日に、住民基本台帳に記録されている者

接種方法：市が接種券を発行し対象者へ送付。対象者は接種券を医療機関等に持参し、接種を受ける。

3 接種順位

①医療従事者等（都道府県が体制構築）

②高齢者 ③基礎疾患を有する者等 ④その他の者

※②～④については市町村で体制構築

4 接種会場

医療機関や市町村設置会場（原則、住民票所在地で接種する）

5 事業費

新型コロナワクチン接種体制確保事業（市町村実施）…補助率10/10

新型コロナワクチン…国が確保し無償で提供

接種費用（手技料）…2,070円/1回（全国统一単価）

6 スケジュール

市町村が第一に行う高齢者向け優先接種は3月を目途に体制確保が必要。（別紙参照）

7 市町村の事務

(1) 想定される事務内容

① 各種契約事務（システム改修、印刷業務等）

② 接種実施体制の検討・調整

③ 予算準備

④ 補助金申請

⑤ 広報、問合せ対応

⑥ 予防接種健康被害調査委員会の設置準備

（健康被害救済の申請受付等も含む。）

(2) 接種券（クーポン券）発行に向けた準備

- ① システム改修
 - ・個別通知発送対象者抽出（1月下旬）
 - ・接種記録の管理等
- ② 接種券（クーポン券）印刷……外部委託検討
 - ・契約事務（1月中旬まで）
 - ・印刷、封入封緘、抜取り（2月中）
 - ・高齢者分発送（3月）
- ③ 相談体制の整備……外部委託検討
 - ・コールセンターの設置（3月中）

(3) 接種場所の選定

- ・医療機関での個別接種又は、市町村設置会場での集団接種
- ・ワクチン特性を考慮した実施場所の選定
 - ① 保管温度の制限（ディープフリーザーが必要、台数に制限あり）
 - ② 1度に配送される最小数量が、100～1000回分程度になる。

(4) 冷凍庫（ディープフリーザー）の割当

新型コロナワクチンの保管には、ワクチンの種類によって、 -75°C 又は -20°C のディープフリーザーが必要になる（国が確保し、市町村に無償譲与）。

- ① 市町村割当通知（12月28日）
 - ・現時点での割当数 -75°C …9台（R2 2台・R3 7台）
 - -20°C …台数未定（追って通知）
- ② 配置先を国へ報告（1月28日締切）

(5) 集合契約への参加

市町村と実施機関の間で締結される委託契約について、個々に契約を結ぶのではなく包括的な集合契約を実施。

- ① 委任状提出 市町村（1月中旬～2月10日）
医療機関（1月中旬～3月上旬）

(6) 補助金申請

- ① 交付申請準備（1月～2月上旬）
- ② 交付申請（2月中旬）
- ③ 交付決定（3月）

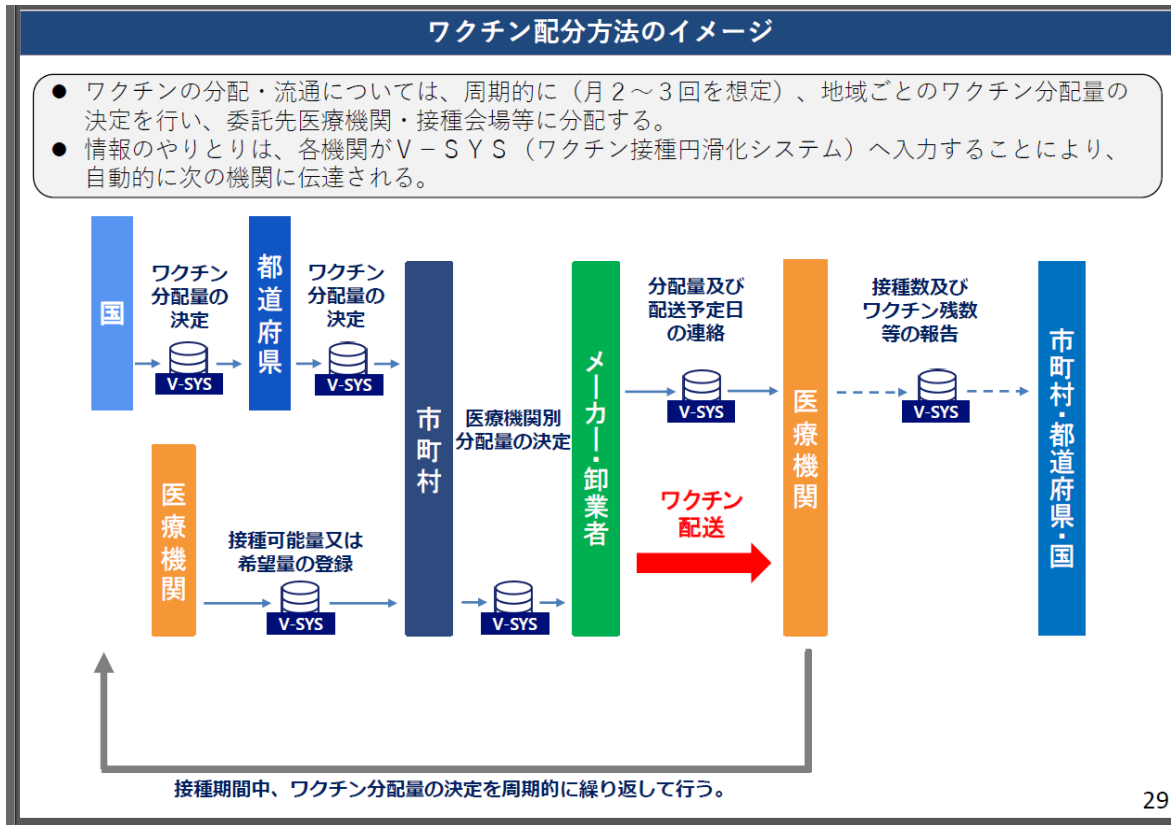
8 V-SYSについて（ワクチン接種円滑化システム）

ワクチン流通を管理するシステム。

（クラウド上に国が設置。インターネット環境で使用）

国や自治体がこのシステムを使用し、ワクチンの分配量を決定する。

複数のワクチンが並行して供給される場合、地域毎に公平・均等に供給される。



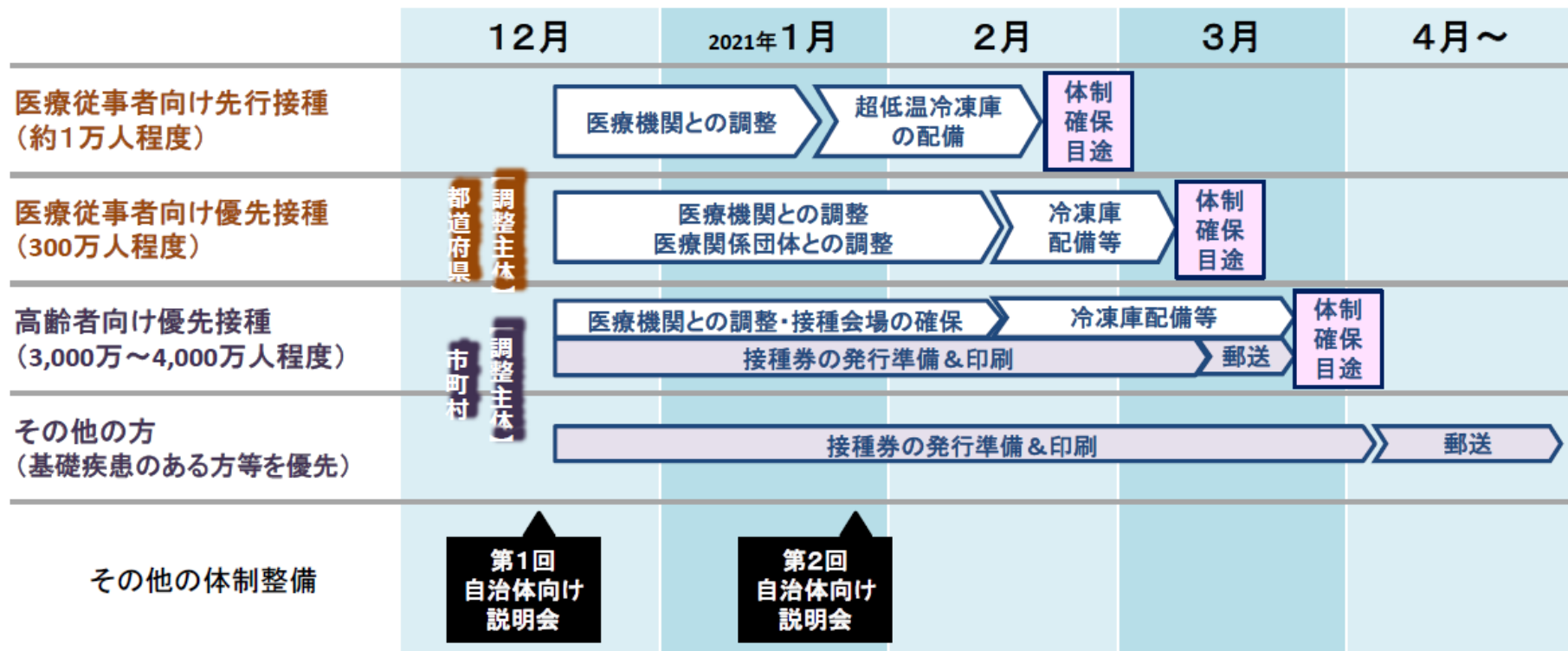
体制確保に係る市町村準備スケジュール（イメージ）

	令和2年度				令和3年度	
	10～12月	1月	2月	3月	4月	5月
人員体制の整備 <small>（会計年度任用職員契約、外部委託含む）</small>	庁内人員体制の確保 					
システム改修	予算準備 → システム改修（クーポン券発行分） 予算準備 → システム改修（接種記録分）					
クーポン券等の印刷・郵送	予算準備 → 契約事務 → 印刷準備・印刷 → ● 発送（高齢者分） → ● 発送（高齢者以外）					
医療機関との調整・契約	医師会等との調整 <small>※医療機関は、1月中旬から委任状提出開始</small>					
医療機関以外の接種会場の準備	会場選定 → 予算準備 → 契約事務					
超低温冷凍庫の配備	(国→自治体)★ 割当数①通知 → ● リスト①国報告 (国→自治体)★ 割当数②通知 → ● リスト②国報告					
接種費用の確保	委任状提出 → ● 実施主体としての集合契約委任状提出 (2/10㊞) 予算が必要な場合、既存経費の活用等 → 予算準備 (補正予算)					
相談体制の確保	予算準備 → 契約事務 → 教育期間 → コールセンター運用					

国から自治体への情報発信等	(10/23)★ 要綱・要領	★★ 手引き案 説明会①	★ 説明会②	◆ 集合契約締結 ※接種実施医療機関等は随時追加可
---------------	----------------	--------------	--------	------------------------------

新型コロナワクチンの接種体制の構築（スケジュールのイメージ）

- ワクチンが承認された場合に速やかに接種が可能となるよう、ワクチン接種の優先順位を踏まえ、都道府県・市町村と連携して、接種体制を整える。



※優先順位は検討中の案に基づく

新型コロナウイルスワクチンの特性（現時点での想定）

※薬事承認前であり、
全て予定の情報です。

	ファイザー社	アストラゼネカ社	武田／モデルナ社
規模	1.2億回分 (6千万人×2回接種)	1.2億回分 (2回接種が想定されており、その場合 6千万人分に相当)	5千万回分 (2千5百万人×2回接種)
接種回数	2回(21日間隔)	2回(28日間隔)	2回(28日間隔)
保管温度	-75°C±15°C	2～8°C	-20°C±5°C
1バイアルの単位	<u>6回分/バイアル</u>	10回分/バイアル	10回分/バイアル
最小流通単位 (一度に接種会場に配送される最小の数量)	195バイアル (<u>1170回接種分</u>)	10バイアル(100回接種分) ※供給当初300万バイアル分 2バイアル(20回接種分) ※残り900万バイアル分	10バイアル (100回接種分)
バイアル開封後の保存条件 (温度、保存可能な期間)	(室温で融解後、接種前に生理食 塩液で希釈) 希釈後、室温で6時間	(一度針をさしたもので以降) 室温で6時間 2～8°Cで48時間 希釈不要	(一度針をさしたもので以降) 2～25°Cで6時間(解凍後の再凍 結は不可) 希釈不要
備考	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関では、ドライアイス 又は超低温冷凍庫で保管 ※医療機関でのドライアイス保管は 10日程度が限度 →10日で1170回の接種が必要 ※最大5日間追加での冷蔵保管可 (2～8°C) 		<ul style="list-style-type: none"> 医療機関では、冷凍庫で保管 (-20°C±5°C)